

## (4) 屋内タンク貯蔵所構造設備明細書（危省令様式第4のニ）

記入例

## 屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		ホテル業					
室の構造 タンク専用	壁	延焼のおそれのある外壁	RC造 (耐火構造)		床	RC造 (耐火構造)	
		その他の壁	RC造 (耐火構造)		出入口	鉄製 (特定防火設備) (しきい高さ 50 cm)	
	屋	根	RC造 (耐火構造)		その他	タンク室面積 20 m <sup>2</sup>	
建築物の一部に タンク専用室を 設ける場合の建 築物の構造		階数	地上7階 地下1階	設置階	地下1階	建築面積	500m <sup>2</sup>
		建築物の構造概要		RC造 (耐火構造)			
タンクの構造、 設備	形状	横置円筒型			常圧・加圧 ( kPa)		
	寸法	内径 940mm 胴長 3,048mm 鏡出 125mm			容量	2,000ℓ	
	材質、板厚	材質 SS400 板厚 4.5mm					
	通気管	種別	数	内径又は作動圧			
		無弁通気管	1	50mm kPa			
	安全装置	種別	数	作動圧			
		なし		kPa			
液量表示装置	フロート式自動液面計			引火防止装置	有・無		
注入口の位置		1階東側外壁		注入口付近の 接地電極	有・無		
ポンプ設備の概要		ギアポンプ 2基 吐出量 60ℓ/分					
採光、照明設備		蛍光灯		換気、排出の設備		強制換気設備	
配管		SGP					
消火設備		第4種泡消火設備1本 第5種粉末消火設備1本		警報設備		自動火災報知設備	
工事請負者 住所氏名		川越市〇〇町〇〇番地〇〇 川越工事(株) 担当 〇〇 〇〇 電話〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇					

記入方法（屋内タンク貯蔵所 構造設備明細書）

欄	記入方法								
事業の概要	屋内タンク貯蔵所を設置している事業所等の主たる事業の概要を記入すること。 なお、かっこ書きにより当該事業所の敷地面積を記入すること。								
「タンク専用室の構造」	の欄の記入方法は、次によること。								
	1棟の建築物のすべてが屋内タンク貯蔵所として規制される場合	建築物の一部に設置した屋内タンク貯蔵所に供する部分							
	<table><tr><td>屋内タンク貯蔵所</td></tr><tr><td>独立棟</td></tr></table>	屋内タンク貯蔵所	独立棟	<table><tr><td>他用途</td><td rowspan="2">屋内タンク貯蔵所 (供する部分)</td></tr><tr><td>他用途</td></tr><tr><td colspan="2">部分規制（一部規制）</td></tr></table>	他用途	屋内タンク貯蔵所 (供する部分)	他用途	部分規制（一部規制）	
屋内タンク貯蔵所									
独立棟									
他用途	屋内タンク貯蔵所 (供する部分)								
他用途									
部分規制（一部規制）									
壁のうち「延焼のおそれのある外壁」	当該建築物の外壁のうち、建築基準法第2条第6号の規定に該当する部分がある場合に、当該外壁の構造を記入すること。 また、建築基準法における構造（「耐火構造」、「不燃材料」等）をかっこ書きで記入すること。	当該屋内タンク貯蔵所が設置されている部分に延焼のおそれのある外壁がある場合に、当該外壁の構造を記入すること。また、建築基準法における構造（「耐火構造」、「不燃材料」等）をかっこ書きで記入すること。							
壁のうち「その他の壁」	当該建築物のうち、延焼のおそれのある外壁以外の外壁、仕切り壁等の構造及び建築基準法における構造も併せて記入すること。	当該屋内タンク貯蔵所が設置されている部分の仕切り壁等の構造及び建築基準法における構造も併せて記入すること。							
床	当該部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。	当該屋内タンク貯蔵所が設置されている部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。							
タンク専用室の構造「出入口」	外壁部分にある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入すること。 なお、しきい高さの欄は、当該屋内タンク貯蔵所に設置したしきい又は油止めの高さを記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分にある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入すること。なお、しきい高さの欄は、当該屋内タンク貯蔵所に設置したしきい又は油止めの高さを記入すること。							
タンク専用室の構造「屋根」	当該部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。	当該屋内タンク貯蔵所が設置されている部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。							
タンク専用室の構造「その他」	屋内タンク貯蔵所の建築面積及びかっこ書きで当該屋内タンク貯蔵所に設置したしきい又は油止めの構造及び容量を記入すること。								

1 棟の建築物の一部に設置した屋内タンク貯蔵所の場合の 「建築物の構造」の欄の記入方法は、次によること。		他用途	屋内タンク貯蔵所	
		他用途		
建築物全体の概要				
階	数	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 8 号で規定する階数を記入すること。		
設	置	階	当該屋内タンク貯蔵所が設置されている階数を記入すること。	
建	築	面	積	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 2 号で規定する面積を記入すること。
建築物の構造概要		当該建築物全体の建築基準法第 2 条第 5 号で規定する主要構造部の構造の概要を記入すること。		
タンクの構造、設備 「形 状」		形状及び屋根形状により次に掲げる区分等により記入すること。 a 縦置円筒型（コーンルーフ）、 b 縦置円筒型（ドームルーフ） c 縦置円筒型（フローティング）、 d 縦置円筒型（インナーフローティング） e 横置円筒型、 f 角型		
タンクの構造、設備 「常 圧 ・ 加 圧 ( k P a )」		タンクの貯蔵方法に該当するものに○を付け加圧の場合はその圧力を記入すること。なお、常圧とは、正圧または負圧で 5 キロパスカルを超えないものをいう。		
タンクの構造、設備 「寸 法」		次によること。 a 縦置円筒型タンクは、内径及び側板のトップアングルまでの高さを記入すること。 b 横置円筒型タンクは、内径、胴長（円筒部分の長さ）、鏡出及び全長を記入すること。 c 角型タンクは、縦、横及び高さを記入すること。		
タンクの構造、設備 「容 量」		タンクの最大許可容量を記入すること。		
タンクの構造、設備 「材 質、板 厚」		タンクのそれぞれの部分の材質及び板厚を記入すること。ただし、材質については、JIS 記号でも認められるものであること。		
タンクの構造、設備 「通 気 管」		タンクに設置された通気管の種別、設置数及び当該通気管の内径及び作動圧を記入すること。なお、内径については必ず記入すること。		
タンクの構造、設備 「安 全 装 置」		タンクが圧力タンクの場合、その種別、設置数、内径及び作動圧を記入すること。		
タンクの構造、設備 「液量表示装置」		タンクに設置した液面計の形式等を記入すること。		
タンクの構造、設備 「引火防止装置」		タンクに設置されている通気管に引火防止装置がある場合は、有に○を付けること。		
注 入 口 の 位 置		タンクにドラム缶、移動タンク貯蔵所等（船舶又は他の許可施設を除く。）から受け入れる口がある場合、当該受入口の設置場所及び設置場所が防油堤の内側か外側かを記入すること。		
注入口付近の接地電極		注入口付近にローリーアース等がある場合は、有に○を付けること。		
ポンプ設備の概要		タンクの受払いを行っているポンプの種類及び最大吐出量、ポンプの原動機の種類及び防爆構造等を記入すること。		

欄	記入方法
採 光 、 照 明 設 備	設置した採光及び照明設備の種類等概要を記入すること。
換 気 、 排 出 の 設 備	窓の開閉又は上部に設置された換気扇のみ等自然換気又は排出の場合は「自然換気」と、可燃性蒸気等が滞留するおそれのある場所のみを強制換気又は排出を行っている場合は、「一部強制換気」と、全体を強制換気又は排出を行っている場合は、「強制換気」を記入すること。
配 管	屋外タンク貯蔵所に設置されている配管又は附属配管の材質について、記入すること。なお、この場合において、JIS 記号でも認められるものであること。 また、当該配管が地下埋設配管の場合は、配管外面の保護方法についても記入すること。
消 火 設 備	危政令別表第5の消火設備の区分のうち、当該屋内タンク貯蔵所に設置したものを記入すること。ただし、当該屋内タンク貯蔵所の一部に設置したものについては、その部分をかっこ書きで記入すること。
タンクの加熱設備	タンクに設置された加熱設備の概要及び加熱媒体を記入すること。
工事請負者住所氏名	設置者等から工事を請け負った法人の名称及び住所並びに当該法人における当該工事の責任者の氏名、電話番号を記入すること。